

森林（もり）づくりと木づかいのお便り

平成 21 年 4 月 24 日 第 42 号

CONTENTS

1 当庁の取組

【1】『新生産システム』

2 当庁の動き

【1】林政審議会の概要について

【2】国有林野事業における技術開発の重点的取組について

【3】第3回「みどりの式典」の開催と平成21年緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰の受賞者の決定について

【4】平成21年度木材利用促進及び木材需給会議の概要について

3 森林（もり）づくりと木づかいに関する情報

情報誌「林野」

美しい森林づくりニュース

森林ボランティア活動情報

イベント情報

【1】「5月4日はみどりの日」キャンペーンの開催について

編集後記

ご意見をお寄せ下さい。

1 当庁の取組

【1】『新生産システム』

林野庁では、平成18年度から新生産システム推進対策事業を実施しています。

新生産システムとは、地域材の利用拡大を図るとともに、森林所有者等の収益性を向上させる新たな仕組みです。この新生産システムを確立するため、豊富な人工林資源をかかえる地域において、施業の集約化、低コストで安定的な原木供給、ニーズに応じた適切な流通・加工体制の構築等を進めています。

林野庁による推進対策としては、全国から11のモデル地域を選定し、各モデル地域で実施する(1)経営コンサルタントを活用した木材の安定供給システムの構築、運営、分析評価、経営診断、(2)集約的な施業の働きかけに資

する伐採可能な立木資源情報データベースの整備・活用、(3) 森林施業、素材生産、流通等の抜本的なコストダウンのための施業技術・事業手法の普及を図る試行的・実証的取組、(4) 施業の集約化を図り効率的・安定的な林業経営を行うモデル的な林業事業体の育成等への支援を行っています。11 のモデル地域ではそれぞれ、これらの推進対策事業等を活用して、地域の目標の実現に向けた取組を展開しています。

日本の森林は、戦中及び戦後の復興に際して大規模に伐採された結果、国土の荒廃を招きましたが、その後の積極的な植林により復活しました。その植林された森林が成長して伐採の時期を迎えつつある今日、国産材の供給のポテンシャルは急速に高まっています。森林は、成長した木材を伐採し製品として利用する一方で、伐採後に適切に更新を行うことにより、再生可能な環境に優しい資源の供給源として、将来にわたって私たちの生活に貢献し続けることができます。また、最近では、地球温暖化防止という観点から、温暖化ガスである二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の吸収源となる森林の役割が注目され、健全な森林として管理することがより一層重要となっています。

しかしながら、国内の森林は個々の所有規模が小さく、木材の生産・加工・流通体制も小規模・分散的であるため、安定した品質の製品を継続的・効率的に供給することが難しいという問題を抱えています。

新生産システムの各モデル地域における取組がこうした問題の突破口を開き、まさにモデルとなって、全国の林業・木材産業の活性化、ひいては適切な森林整備の推進につながることを期待しています。

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/kouhou/kouhousitu/jouhoushi/pdf/4-3.pdf>

## 2 当庁の動き

### 【1】林政審議会の概要について

3月31日(火曜日)に林政審議会が開催されました。

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/rinsei/090401.html>

### 【2】国有林野事業における技術開発の重点的取組について

国有林野事業の技術開発における平成21年度の重点的取組については、平成21年2月26日に開催した有識者からなる国有林野事業技術開発委員会技術開発部会の意見を聴いた上で、効率的な森林管理及び健全な森林の育成技術の確立に資する2課題を決定いたしました。

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/gyoumu/090409.html>

### 【3】平成21年度木材利用促進及び木材需給会議の概要について

4月13日（月曜日）に平成21年度木材利用促進及び木材需給会議が開催されました。

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/riyou/090417.html>

その他のプレスリリースはこちら

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/index.html>

### 3 森林（もり）づくりと木づかいに関する情報

#### 情報誌「林野」

林野庁では、林野庁の施策や森林・林業に関する様々な情報を皆さまに広く知っていただくため、情報誌「林野」を発行しています。

4月号の特集は、「新生産システム」です。

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/kouhou/kouhousitu/jouhoushi/2104.html>

#### 美しい森林づくりニュース

地球温暖化の防止への貢献や次の世代に美しいみどりを伝えていくため、「伝えたい木の文化、残したい美しい森」をキャッチフレーズに「美しい森林（もり）づくり推進国民運動」が始まっています。

この運動の展開状況についてお知らせすることにより、この運動を多くの国民の皆様にご理解、ご賛同いただくために「美しい森林づくりニュース」を発行しています。

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/seisaku/utsukushiimoridukuri/news.html>

#### 森林ボランティア活動情報

全国各地でボランティアによる森林づくり活動が活発に行われています。（社）国土緑化推進機構では、誰でも参加できる全国各地の森林ボランティア活動の情報を発信しています。

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.green.or.jp/volun/info/katsudou.asp>

## イベント情報

### 【1】「5月4日はみどりの日」キャンペーンの開催について

“森”発見・“森”体験・高尾山（しんはっけん・しんたいけん・たかおさん）  
～5月4日はみどりの日～

「みどりの日」を記念して、森林関連イベントの実施により、森林への理解を深めていただくため、「5月4日はみどりの日」キャンペーンを高尾山において開催します。

開催日 平成21年5月4日（祝・月）10：00～16：00

場 所 高尾森林センター

高尾山自然研究路1号路（表参道コース）

多摩森林科学園（八王子市廿里町1833-81）

主 催 「5月4日はみどりの日」実行委員会

詳しくはこちらをご覧ください。

[http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/hozen/090406\\_1.html](http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/hozen/090406_1.html)

## 編集後記

桜が葉桜に変わり、暖かい気候になりました。そして、新緑が眩しいゴールデンウィークが近づいてきました。みどりの月間（4月15日～5月14日）のこの時期は、全国各地で緑化に関するイベントがたくさん開催されます。イベント情報でもご紹介しましたが、東京都にある高尾山周辺で、「5月4日はみどりの日」キャンペーンを開催します。「森の面白クイズラリー」や「竹の工房」、「木の工房」、「丸太切り体験」など家族や友達と楽しめる様々な催し物を行います。是非お越しください。

ご意見をお寄せ下さい。

御意見、御要望、又は転載を希望される場合は、下記編集発行先にメールにてお寄せください。

## ご注意

メールマガジンに掲載したURLで、一部PDF形式のものがあります。

PDFファイルをご覧いただくためには林野庁ホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/index.html> をご覧になり、

「Get Adobe Reader」のボタンで Adobe Reader をダウンロードしてください。

## 編集発行

〒100-8952 東京都千代田区霞が関1-2-1

林野庁 広報室

TEL 03-3502-8026

E-mail : <https://www.contact.maff.go.jp/rinya/form/5dd6.html>

メールマガジンのバックナンバーや配信停止の受付及びメールアドレスなどの会員情報の変更は下記サイトで受付をお願いいたします。

パスワードをお忘れの場合はパスワードの再発行をしてください。

バックナンバーは、こちらからご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/mailmagazine/mail.html>

メールアドレス等の変更

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/chg.html>

変更には御登録いただいたメールアドレスとパスワードが必要です。

メールマガジンの配信停止

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/can.html>

配信停止の際には御登録いただいたメールアドレスとパスワードが必要です。

パスワード再発行

万一パスワードをお忘れの場合は下記より御登録いただいたメールアドレスを入力して、パスワードの再発行をしてください。

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>